



1・2_キャッチャーとしての守備練習／3_バッティング練習／4_試合へ向けて円陣で気合いを入れる南部中学校野球部の皆さん

後、活躍が楽しみです。

チームや学校を、仲間と笑顔で盛り上げるリーダー。今後の活躍が楽しみです。

平戸の新星 第33回

生徒会長と野球部キャプテンを務める二刀流のリーダー

春の南部中学校のグラウンドで、汗を流し、笑顔で声をかけ合う野球部の生徒たち。その中心に、キャプテンの日高暖さんがいます。

小学1年生のころにお兄さんの影響で野球を始め、6年生になると、南部中学校野球部の練習に参加するようになりました。

そして昨年、南部中学校

野球部は、県下選手権の平戸市大会や全日本少年春季野球大会平戸市予選、平戸市中総体新人戦で優勝するなど、実力を伸ばしています。

また、中学2年生の冬に生徒会長選挙に立候補し、見事当選。実は人前に立つのが苦手ですが、「みんながあいさつを交わし合える、元気で楽しい学校にしたい。そのために、まずは自分が積極的に行動する」と意気込みを語ります。

そんな暖さんに野球の魅力を尋ねると、「仲間のみんなと協力して喜びを分かち合えることが楽しいです」とのこと。（3月まで）顧問の池田先生の指導のおかげで市内で優勝できるようになりました。南部中学校の単独チームで試合に出場できるのは今年で最後だと思うので、中総体で優勝したいです」と、力強く話してくれました。



南部中学校 3年 日高 暖さん

中学生になってからは、筋肉を鍛えるのと同時に、柔軟な体を作るよう心がけているそうです。

須古の歴史で深める交流



4月13日に佐賀県白石町で「しろいし歌垣春まつり」が開催され、平戸市須古踊振興会の大島村須古踊保存会、館浦須古踊保存会、獅子須古踊保存会が参加し各地区の須古踊りを披露しました。

平戸市内の大島村地区、館浦地区、獅子地区に伝わる須古踊りは、須古城跡が所在する佐賀県白石町がルーツとされており、令和4年に佐賀県白石町の須古歴史観光振興会と交流が始まり、令和5年4月に大島村須古踊保存会、館浦須古踊保存会、獅子須古踊保存会で平戸市須古踊振興会を設立。同年11月に生月町で開催した「平戸市須古踊り交流促進シンポジウム」には白石町の田島町長を始め、須古歴史観光振興会が参加するなど交流を深めています。

写真1_館浦須古踊保存会／写真2_大島村須古踊保存会／写真3_獅子須古踊保存会

人口の動き

()は、前月との比較
令和7年4月1日現在

■総人口	27,594人(-183人)	■平戸地区	15,783人(-100人)
■男 性	13,174人(-74人)	北部地区	9,457人(-42人)
■女 性	14,420人(-109人)	中部地区	3,008人(-24人)
■世帯数	13,510戸(-17戸)	南部地区	3,318人(-34人)
問 市民課戸籍住民班 ☎22-9123		■生月地区	4,435人(-39人)
		■田平地区	6,517人(-39人)
		■大島地区	859人(-5人)

交通事故件数

令和7年3月末現在

■件 数	5件(7件)
■死 者	0人(0人)
■負傷者	6人(8人)

※()内は昨年同期

問 総務課危機管理班 ☎22-9101

火災救急件数

令和7年3月末現在

■火災	7件(4件)
■救急	482件(452件)

※()内は昨年同期

問 消防本部予防課 ☎22-3167